

図書だより

2020年9月号
館林市立第二中学校



新学期が始まりました。夏の疲れや休み明けで、体が慣れないかと思います。無理のないよう自分のペースで生活のリズムを整えられるといいですね。図書室では、新しい本やコーナーを設置しましたので利用してみてください。

NEW 新着図書

<よみもの>

- *新撰組戦記 小前亮・著
- *グレーテルの白い小鳥 齊藤洋・著
- *君だけのシネマ 高田由紀子・著
- *ドリーム・プロジェクト 濱野京子・著
- *オレは、センセーなんかじゃない！
おかざきさとこ・著
- *365日のスプーン お一なり由子・著
- *Love letter お一なり由子・著
- *もっと!!からだのなかのびっくり事典
奈良信雄・著
- *はじめての感染症図鑑 岡田晴恵・著
- *怖くて眠れなくなる感染症 岡田晴恵・著
- *怖くて眠れなくなる植物学 稲垣栄洋・著

<調べ学習>

- *福祉ってなに？ 全3巻 池上彰・著
- *道徳を考える 全3巻 内田樹・著
- *エシカル消費 全3巻 山本良一・監修
- *絵本日本女性史 全4巻
野村育世・関民子・早川紀代・著
- *子どもの目のケア 宮永嘉隆・著
- *季節のことば 中村和弘・監修
- *日本の四季と行事 小池淳一・著
- *日本と世界のランキング大事典
- *朝日ジュニア学習年鑑2020
- *ニュース年鑑2020
- *Newton2020年9・10月号

あたらしいコーナー紹介

* 図書委員おすすめ絵本

新学期早々、読書なんてと思っている人におすすめ！
図書委員が、かわいいイラストとコメントを添えて、絵本を紹介してくれました。ぜひ手にとってくださいね。
(裏面に紹介があります。)

* 9月は防災の日・敬老の日

毎年大きな台風被害が日本全国で報告されます。特に昨年は、近隣の栃木県佐野市秋山川の決壊で、身の危険を感じたと思います。自分の身を守る為に何をしたら良いのでしょうか？この機会に考えてみましょう。
また、二年生は福祉学習がありますね。高齢者福祉のコーナーも用意しましたので活用してみてください。

* 合唱コンクールに向けて

合唱練習が始まりました。連日図書室にも、練習の歌声が聞こえ、とても心地よい日々を送っています。本番に向け頑張ってくださいね。音や合唱をテーマにした本のコーナーを設けました。

図書室こぼれ話

夏休み皆さんはどのような読書をしましたか？
休み明け、このような話が聞けました。
まずは2年F君は「長編小説3巻をなんとか読みきりました!!」と返却に来ました。自分で目標を立て頑張った読書。
そして2年N君は、保育園での職場体験を通した成長記の課題図書について「ここが良かったです！」と教えてくれました。そのページには、保育の本質を思わせるような園長先生の言葉がつつられていました。心に残る本に出会えた感動の読書。どちらも素晴らしい読書経験だと思います。「自分の一冊に出会えた人は強くなる」と聞いたことがあります。みなさんも素敵な本に出会えますように。

図書委員おすすめの絵本



<p>かぜのでんわ いもとようこ・作</p>	<p>この本は、岩手県に置いてある「風の電話ボックス」をもとに作られたものです。本物の電話線はつながっていないけれど、会えなくなってしまった人に思いを伝えることができます。とても良いお話です。ぜひ読んで見て下さい。</p>
<p>うらしまたろう 大川悦生・作</p>	<p>僕だったら、玉手箱を開けるなどと言われても開けてしまうほど面白い本です。</p>
<p>ごろごろにゃーん 長新太・作</p>	<p>この本には「ごろごろにゃーん ごろごろにゃーん ひこうきはとんでいきます」という文しか出てきません!同じことの繰り返しだけど超楽しい!!ぜひ見て下さい。</p>
<p>ぼくのニセモノをつくるには ヨシタケシンスケ・作</p>	<p>ぼくが、ぼくのニセモノのおてつだいロボットをつくろうとするお話。</p>
<p>かさこじぞう 岩崎京子・作</p>	<p>おじいさんが「おお きのどくにな さぞつめたかろうに」と言い、かさをかぶせた。ところが1つ足らなかった。だから自分の手ぬぐいをかぶせた。そしたらおじぞうさんから…</p>
<p>しゅくだい いもとようこ・作</p>	<p>めえこ先生が言いました。「今日の宿題は…です」そしたら皆は「え〜」「どうしよう」と言っています。どんな宿題なのでしょう?</p>
<p>へなちょこ くすのきしげのり・作</p>	<p>自分の弱さと向き合い前に進む主人公、ともちゃんの姿を描いた心温まる物語。</p>
<p>さるかにぼなし 西郷竹彦・作</p>	<p>これはサルがカニをいじめ、いじめられたカニがサルに仕返しをする物語です。</p>
<p>はらぺこあおむし エリック・カール・作</p>	<p>生まれたあおむしが食べものを探しに出かけます。たくさん食べて最後に…ぜひ読んで見て下さい。</p>
<p>だるまさんが かがくいひろし・作</p>	<p>だるまさんが…の後に色々なだるまさんの表情が見られます。とてもかわいらしい本なのでぜひ見て下さい。</p>
<p>みえるとかみえないとか ヨシタケシンスケ・作</p>	<p>「人間には手が2本あることは普通だけど、手が4本ある動物をめずらしく思う。」このように、この絵本は、別の特徴を持った人は不便そうに見えて意外とその人しか実感しない物もあると感じます。</p>
<p>こぶと 大川悦生・作</p>	<p>この話は有名な昔話で、文字もひらがなが多いので小学1年生でも読めると思います。</p>
<p>このあとどうしちゃう ヨシタケシンスケ・作</p>	<p>見ているだけで楽しくなるような絵とユーモアあふれる話が魅力の絵本。</p>
<p>なんだろうなんだろう ヨシタケシンスケ・作</p>	<p>かわいらしい絵と読んでいて何度も疑問を持てるような絵本です。</p>
<p>ごんぎつね 新美南吉・作</p>	<p>この絵本はきれいな風景やきつねの気持ちの変化が面白い本です。</p>
<p>あらしのよるに きむらゆういち・作</p>	<p>ヤギとオオカミがお互いの正体を知らないまま仲良くなっちゃう物語。</p>
<p>はなさかじい 吉沢和夫・作</p>	<p>はなさかじいが、枯れている木に花を咲かせるという話です。</p>
<p>千ロップのきつね 高橋宏幸・作</p>	<p>この本は、戦争が激しい時代のキツネの親子を書いた物語です。子ぎつねはどうなるのでしょうか?ぜひ読んで見て下さい。</p>